

令和8年度 第1回 雲南市歴史文化講座



旧吉田村尋常高等小学校講堂 外観

【とき】：6月6日(土)
14時～16時

【ところ】：吉田町生涯学習交流館

【演題】：旧吉田村尋常高等小学校講堂と
登録有形文化財

【講師】：和田 嘉宥氏
(米子高専名誉教授・雲南市文化財保護審議会副会長)

【参加費】：無料

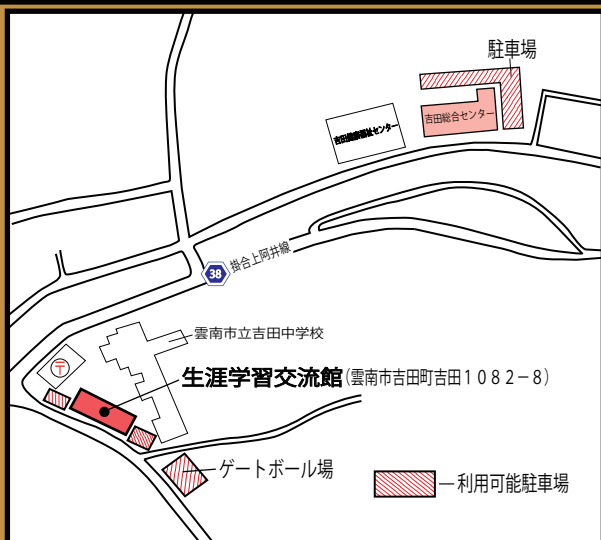
【その他】：参加申込不要

【問合先】：雲南市教育委員会文化財課
(0854) 40-1075

旧吉田村尋常高等小学校講堂（吉田町生涯学習交流館）が、市内初の国の登録有形文化財に登録されました。

講堂は近代洋風建築の外観をもち、伝統と近代が調和した戦前モダニズム建築を伝える建物です。昭和52年に吉田小学校で火災が発生した際には、講堂だけは守ろうと消火活動が行われるなど、地域の方々に愛され、大切にされてきました。

今回の講座では、旧吉田村尋常高等小学校講堂の魅力や登録文化財制度について講演していただきます。



※駐車場は吉田学習交流館駐車場または向かいのゲートボール場をご利用ください
満車の場合は吉田総合センター駐車場をご利用ください



内部の様子

(裏面にもお知らせあります→)

『雲南市ふるさと文庫』を創刊しました

雲南市教育委員会では、歴史文化に広く親しんでいただくため、市内に所在する身近な文化財を取り上げてわかりやすく解説する『雲南市ふるさと文庫』を創刊しました。

創刊号は、雲南市三刀屋町のランドマークである三刀屋城を取り上げ、雲南市文化財保護審議会の稲田 信会長にご執筆いただきました。

三刀屋城は、承久の乱後に地頭に任じられた三刀屋（諏訪部）氏の居城でしたが、関ヶ原合戦後に松江藩主として入部した堀尾氏によって、近世城郭に改められました。三刀屋城は、松江城と同じように天守や石垣をもつ城であり、堀尾氏による出雲国西部支配の拠点だったのです。

全国の書店・Amazonにて販売中です。

書籍情報

書名 「雲南市ふるさと文庫 1 近世の三刀屋城と本城・支城体制
－堀尾氏領国支配の一端を考える－」

著者 稲田 信（いなた まこと）

発行 雲南市教育委員会

販売 ハーベスト出版

仕様 A5判・オールカラー・66ページ・並製本

定価 550円（税込）

ISBN 978-4-86456-587-5

